

# 発達検査依頼票



依頼日：令和5年4月13日

学園・学校名	ひまわり学園 那珂市立仲麻呂小学校
コーディネーター名	職：教諭 氏名：茨城 花子
担任名	職：教諭 氏名：那珂 三郎
幼児児童生徒名	氏名：中庭 大輔（なかにわ だいすけ）（男）・女）
学年／生年月日	第3学年（9歳）／平成25年8月15日生
保護者氏名	氏名：中庭 善徳（なかにわ よしのり） 続柄（父）
連絡先電話番号	TEL：029-298-1111
日常の様子及び課題 となっている点	<p>・情緒的には特に問題なく、非常に穏やかな性格である。</p> <p>・入学時から集団の中での学習にうまく適応できず、当該学年の学習内容が十分に定着していないことが課題となっている。（小学1年生の学習内容も不十分）</p> <p>.....</p>
校内における支援の 経過について ※ 時系列に沿って 簡潔に記入 ※ ケース会議、校内 支援委員会の開催 状況、保護者との面 談の実施状況を必 ず記入	<p>【第1学年】</p> <p>4月～6月まで通常形で授業を行っていたが、適応できていない状況が見られたため、7月上旬にケース会議を行い、本児の状況や支援の方向性について検討を行った。その後、保護者と面談を行い、了承を得た上で、生活指導員による個別の指導を2学期から取り入れることにした.....</p> <p>【第2学年】</p> <p>年度当初から生活指導員による指導を継続するとともに、空き時間の職員や教頭による個別のサポートを行う。しかし、学習内容の定着が十分に図られない状況が続いた。6月に保護者と面談を行ったところ、本児の学習の遅れに対する心配や、本児の特性に対する悩みについて相談を受けた。そこで、校内支援委員会を実施し、..... .....などの支援を行っていくことを確認するとともに、保護者との面談を継続的に行うことを確認した。</p> <p>3学期に再び校内支援委員会を実施する。本児の状況や保護者の願いを勘案し、来年度の2学期から、特別支援教育学級への入級を進めていくことを確認した。..... ..... ..... ..... .....。</p>

<p>医療や福祉との関わり</p> <p>※ これまでに関わりがない場合は今後の見通しを記入</p>	<p>・幼稚園在籍時（4歳～5歳）に市の発達相談センターに何度か通所していたが、発達検査等は受けていない。</p> <p>・現在のところ、医療には繋がっていない状況である。</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>本人や保護者の願い</p>	<p>保護者は、父母共に特別支援教育学級（知的）への入級に前向きである。本児の将来を考え、本人なりのペースで学習を進めていける環境を望んでいる。本人も、教育相談として実施していた特別教育支援学級（知的）での学習に手応えを感じている様子である。</p>
<p>検査後の学校としての対応</p> <p>※ 校内の教育支援委員会で合意形成を図った今後の方向性等を記入</p>	<p>検査結果において、知的障害が疑われる場合には、.....</p> <p>.....</p> <p>知的障害や自閉症・情緒障害の疑いが低いことが分かった場合には、</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>その他参考となる事項</p> <p>※ 身体的な課題や保護者の養育態度等、今後の支援において参考となる事項を記入</p>	<p>健康状態は良好であり、身の回りの整理整頓や衣類の着脱等はきちんとできる。.....</p> <p>保護者は父母ともに本児の状況をよく理解しており、学校に対しても非常に協力的である。.....</p> <p>.....</p>
<p>学校長確認欄</p>	<p>当該児童生徒に対する支援を更に充実させるため、発達検査の実施を希望します。</p> <p style="text-align: right;">〇〇学園 那珂市立〇〇学校長 <u>白井 一俊</u></p> <p style="text-align: right;">(※ 本人自署)</p>

※教育支援センター記入欄

<p>検査者氏名</p>	
<p>検査予定日時</p>	<p>令和 年 月 日</p> <p>午前・午後 時～</p>
<p>検査後の処理</p>	

◇ 学校 ⇒ 市教育委員会指導室（C4th「個人連絡」にてPDFデータを提出）

（※ 事前に指導室の特別支援教育担当者と要相談）

◇ 2ページで作成すること。（両面印刷可）